

R7 自己評価結果の総括表 まとめ

重点目標	評価項目 (特出項目がある場合)	評価指標及び評価結果				総括評価	コメント 結果に関する説明・意見・反省点・改善策・課題等
		取組指標	取組結果	成果指標	成果結果		
健康・体力づくり を推進する	運動量の増加	(年長)・競争心を高め、体を大いに動かせるよう、リレーなどを活動の中に取り入れていく (年中)・登園後、戸外遊びの時間を設ける (年少)・毎日、朝5分程度で1～2種目のリズム体操を行う (うさひよ)・園庭あそびやリズム体操を取り入れ体を動かす時間を作る	B	・体を十分に動かし、進んで運動する。	B	A	(年長)・体を動かす遊びを提案し、子ども達は楽しむことが出来た。また、こちらからの誘い・声掛けがなくとも、サッカーや鬼ごっこなど、自分達で遊びを考え、体を動かして楽しんでいる。 ・体をたくさん動かし、自分たちで考えて遊びを展開することができた。 ・子ども達から遊びの中でリレーがしたいという言葉を引き出すことが出来た。 (年中)・外に出れる時には積極的に戸外遊びの時間を設けた。行事前や、寒い時期には朝の時間に園庭に出ることが難しかった。また、連絡帳の確認などもあり難しかった。 (年少)・2学期の途中くらいまでは取り組めていたが、発表会前になって、朝の時間がとれなくなっていった。それまで、子ども達は飽きることなく楽しんで参加していた。行事の時期は十分に時間がとれないので、他で運動量が減らないようにする工夫が必要だった。 ・毎朝リズム体操を行うと書いたが、できていなかった。朝の会の時間を早め、取り組んでいきたい。 (2歳児)・子ども達が、進んでリズム体操に参加したかはわからないが、楽しそうに参加していた。 (1歳児)・後半は、子どもたちの生活面の自立も少しずつ進み、活動の合間に園庭あそびを組み入れることができた。1日1回は体を動かす時間がとれるように考慮している。 (補助)登園後の戸外遊びについては、保育者の人数、業務の関係上、実践が難しかった。が、給食後の戸外遊びは、毎日充実しており、存分に体を動かしながら、ルールのある遊びも取り入れ、運動能力、人間性の向上が育まれた。 ・園庭あそびやリズム体操は定期的に取り組んだが、部屋での運動遊び(マット、巧技台)が少なかった。
	食育	(年長)・体に必要な栄養素について、話をしたり絵本を見せたりする (年中)・食べ物働きについて伝え、意欲的に食べられるようにする (年少)・自分たちで育てた野菜を使って、調理をし、食べる活動を行う (うさひよ)・食材の味覚・食感を、保育者と子どもが会話を通して共有しながら、楽しい雰囲気の中で食事を進める	A	・先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ	A		(年長)・「炭水化物」「ミネラル」などの表を貼ってメニューに合わせて話すこともしていたが、最近は忙しさにより出来ていなかった。 ・体に必要な栄養素について話をしたが、絵本や写真を使って詳しく話すことが出来なかった。朝の会や帰りの会で食べ物についての話を取り入れると良いと思った。 ・給食の献立を子どもたち自身で、材料が何かを話していた。 (年中)・時々、食べ物働きについて伝える程度だった。そもそも自分がよく分かっていた。子ども向けの絵本など活用すると良かった。 (年少)・ピーマン、ナス、オクラを育てた。収穫した野菜を使って、ピザやナスのチーズ焼き等作った。一人一個ずつピーマンを持ち帰って、家で食べる取り組みも行った。家では食べない子も食べられる姿を保護者に見てもらえた。 ・苦手な野菜に挑戦する姿も見られ、食の大切さを学びきっかけになったと感じる。 (2歳児)・食材を箸で持ち「これなに？」と聞いてくる場面が多くあった。 (1歳児)・給食は、苦手な食材が進まないこともあるが、状況に応じて援助している。一緒に食べながら食感や味、感想を伝え合っている。 (補助)・野菜の育て方について、私自身ももっと勉強すべきだった。 ・給食は一人一人に合わせ、量の調整をし、完食できる喜びを味わえるようにした。

<p>自然に親しみ豊かな直接体験をさせる</p>		<p>(年長)・自然と触れ合えるような園外活動を取り入れる (年中)・生き物や図鑑を進んで見られる環境を設営する (年少)・野菜を育てる過程で、水やりや世話を体験しながら、野菜の成長を身近で観察させる (うさひよ)・園庭遊びや散歩を通して、自然物に触れる機会をつくる</p>	<p>A</p>	<p>・自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ</p>	<p>B</p>	<p>A</p>	<p>(年長)・芋掘り・田植え・稲刈り等の行事を通して、自然に興味をもつことが出来た。 ・戸外遊びの中で、図鑑に記載している虫なのかを調べる姿が見られた。また、帰りの会の絵本などで虫や自然の植物について話をした。 ・散歩などの際も、生き物について話をしていた。 (年中)・カナヘビ、バッタ、アゲハ蝶、カエルなど様々な生き物を観察した。子どもが自ら図鑑を手に取り、見比べて楽しむ姿も見られた。 (年少)・自分たちで毎朝水やりをしていたので、野菜の成長に自ら気づいていた。活動の間等に、野菜を見に行きたいという声も聞かれるようになった。 ・責任感を持って栽培に取り組む姿、成長を楽しみにする様子が見られたため成果を感じた。 (2歳児)もつと自然物に触れられる環境を保育者が調べておくべきであった。 (1歳児)戸外遊びの機会は多く取り入れられるようになったが、自然に触れる際の環境設定が不十分だった。 (補助)・特に年中さんは自然の生き物を観察できるよう工夫していた。 ・年少の子どもたちが、自ら進んで水やりを行う姿が見られた。 ・園庭に出ると、貝殻や木の枝を集め、自然物に触れて楽しむ姿が多く見られたので、もう少し、園庭に出る時間を増やせたら良かったのではないかと思う。 ・日常の園生活の中で、自然に関心もてるような環境設定を出来ていると思う。</p>
<p>読み聞かせを重視し、これを推進する</p>		<p>(年長)・帰りの会で絵本の読み聞かせをする (年中)・降園前に絵本の読み聞かせや紙芝居をする (年少)・午睡前に毎日読み聞かせを行う (うさひよ)・一日一回は読み聞かせを行う</p>	<p>A</p>	<p>・絵本に親しみ、読み聞かせに楽しんで参加する</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>(年長)・出来る限り毎日読み聞かせを行った。子ども達は興味を持って見ている。 ・毎日違う絵本や紙芝居を取り入れて、絵本に対して関心や興味を引き出すことが出来た。 ・読み聞かせの際に種類を多く見せて、子ども達が選んだ本を読むようにした。 (年中)・季節の絵本などの読み聞かせを行った。子どもたちが気に入った絵本をリクエストしてくることもあった。 (年少)午睡の時間で行っていたが、給食の時間が遅れてしまうと、時間が取れないこともあった。子ども達は、読み聞かせが好きで、この本がいい！とリクエストすることもあった。 ・毎日行えなかった。時間に余裕をもって行えるように心掛けたい。 (2歳児)時間を見つけて、必ず読み聞かせを行った。好きな絵本が出来た子もいた。 (1歳児)毎日一回は読み聞かせの時間を取り入れている。また、自由あそびの時間には、個別にリクエストされた絵本を読んだりもしている。 (補助)・子どもたちが、読み聞かせを楽しみにしていて、集中してやる事が出来るようになっている。 ・「読んで！」と持ってきたり、自ら絵本を手に取り見る姿が多く見られた。 ・保護者に対して読み聞かせの推進をもっと出来るとよい。</p>

物を大切にし、片付けができるようにする		<p>(年長)・整理整頓について話をすると共に、月一回掃除の時間をつくる</p> <p>(年中)・片付けの時間を決めて、自ら片付けを始められるようにする</p> <p>(年少)・玩具の片付ける場所を決め、自分たちで片付けられるようにする</p> <p>(うさひよ)・保育者が声かけをしながら、一緒に片づけを行う</p>	A	・身近な物を大切にすることが育つ	B	B	<p>(年長)・月一回の整理整頓が出来ている月もあったが、出来ていないことが多かった。声掛けなしでは、ロッカーの中がごちゃつく子が多かったり、床に水筒、カバンが落ちていることがあり、残り一か月声掛けしていく必要がある。</p> <p>・月に一度、自分のロッカーを整理整頓することによって、保育者が声掛けすることなく、自分で片付けを行う姿が村れた。</p> <p>(年中)・「長い針が〇になったら片付け」と伝えた。時計を見て気付いた子どもが友だちに声を掛ける姿が見られた。「長い針どこになったら片付け？」と自ら聞いてくる子もいた。</p> <p>(年少)・自分たちで片づけられるが、遊びを中断できず、遊びながら片付けが進まないことがある。特定の子が多いので、楽しみながら片付けが出来るようにしたらよかった。</p> <p>・意欲的に片付ける姿は見られたが、身近な物を大切にすることが育むことには繋がらなかった。</p> <p>・物の使い方、ロッカーの使い方を子どもと一緒に見直していきたい。</p> <p>(2歳児)・片付けも一緒にし、いろいろな声掛けを試した。しかし、まだ常に声掛けがまだ必要である。</p> <p>(1歳児)・片付けは保育者が声をかけながら行っているが、その行為が“物を大切に”には繋がっていない。</p> <p>(補助)・子どもと一緒に片付けに取り組む中で、雑な扱いに対しての声かけも行っているが、大切にしようという気持ちは育っていないと思う。声かけや自分自身のふるまいにも気を付けたい。</p> <p>・片付けしやすい環境づくりや、物を大切にするために、整理整頓の仕方など工夫が必要だと感じている。(今は、おもちゃがごちゃごちゃだったり、整理する為の棚、入れる所が足りなかったり…)</p>
基本的な生活習慣・態度を身につけさせる		<p>(年長)・手洗いや食べこぼしの片付け等、自らできるような声かけをする</p> <p>(年中)・ポスター等を活用しながら、随時知らせしていく</p> <p>(年少)・自分で着替えが出来るよう、脱ぎ方や畳み方を教える</p> <p>(うさひよ)・個別の発達段階に応じて援助をする</p>	A		B	B	<p>(年長)・手洗いは出来ているが、食べこぼし掃除は出来ていたりいなかったりである。おぼんの上のこぼしは、自分で拭く子どもが増えた。歯磨きが遊びになるため、見守りを強化した。</p> <p>・食べ終わり時、自分の身の回りを確認し、食べこぼしを自分で取ることができた。</p> <p>(年中)・箸やスプーンの正しい持ち方をイラストを使って伝えた。</p> <p>(年少)・少しずつ自分たちで着替えができるようになった。ほとんど手伝うことなく出来ている。畳み方が雑になりがちなので、声かけをしていく必要がある。</p> <p>・手洗い・うがいなども視覚的に伝えられるとよかった。</p> <p>・声掛けなく、丁寧に畳む姿が見られた。</p> <p>(2歳児)・個々に応じて援助を行った。声を掛け、見守ることを実践しているが、甘えも見られるようになり、時間が掛かる。</p> <p>(1歳児)・年齢的なこともあり、嫌がることが多く(イヤイヤ期)自分では行うことは難しいので、保育者と一緒にいる。</p> <p>(補助)・オムツ、ズボンの着脱は、毎日繰り返し教え、見守ることで、1歳児も自分でしようとする姿が見られるようになった。</p> <p>・子どもによって、習慣化できているものとできていないものがある。基本的な生活習慣は、全員の習慣化を目指したい。</p>

保護者支援・子育て支援を充実させる	すくすくらぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェタイムを設けて、保護者情報交換の場を提供する ・外部講師を呼んで親子参加型にする ・0・1歳児向けの内容を主にする ・プレ保育(保育と給食)を行う ・すくすくの行事のみを案内するインスタを始める 	A	・すくすくの時間が、親子共に満足してもらえるようになり、申し込みが増えた	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドメイドのすくすくが楽しそうだった。 ・園の雰囲気、様子が分かるような活動を行った。 ・お母さんたちの情報共有の場になっていた。 ・カフェタイムは、保護者のくつろぎの時間になっているように見受けられる。 ・すくすくらぶがあることで、園見学に来る保護者が楽しい所だと感じ、入園のきっかけになると思う。 ・プレ保育を行った。園で過ごす子どもの様子を知ってもらえる良い機会となった。 ・楽しいイベントが計画されていたり、カフェタイムが設けられていたり、参加しやすい内容だったと思う。 ・外部講師、とても良いと思う。 ・すくすくの内容を親子体験型にしたり、講師を招くなど、内容をガラリと変えたり、カフェタイム、無添加のおやつを提供し、楽しんでもらえた。ただ、企画、当日担当も常に三人で行うのは、他の職員には、何をしているのか伝わらない。
	ホームページ	・ホームページを新しくする	B	・平和が丘幼稚園のことを幅広く知ってもらえるようになった	B		<ul style="list-style-type: none"> ・写真・レイアウトを見直し、わかりやすいホームページになっていた。 ・園の周知が広まっているかはわからない。 <p>早急に結果が見られることではないと考えるので、活動の継続が必要だと感じた。</p>